

令和6年度 学位論文審査申請の手引き

(修士課程医科学専攻)

信州大学大学院医学系研究科

I. 提出資格

1年以上在学し、22単位以上修得した者
(2年次修得科目のうち、医科学研究方法論演習Ⅶおよび医科学研究方法論演習Ⅷについては、修得見込の単位数も含める)

II. 論文申請手続き

12月20日(金)まで 学位論文題目届(様式1)
学位論文審査委員会委員候補者名簿報告書(様式4)

1月15日(水)まで 学位論文審査申請書(様式2)
論文内容の要旨(様式3)
学位論文 3部
(様式4 変更がある場合のみ再提出)

2月6日(木) 学位論文発表会
時間:未定(後日通知します)
場所:旭総合研究棟9階 講義室AB
発表時間:1人10分(発表7分, 質疑3分)

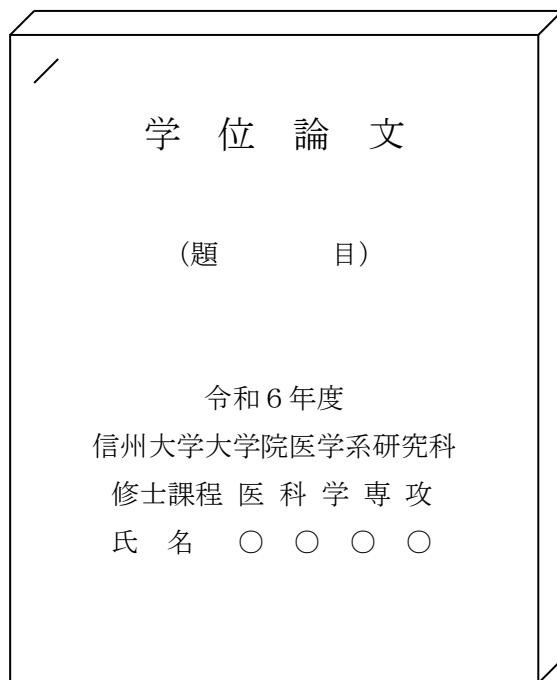
2月20日(木)まで 学位論文最終原稿 2部
左肩クリップ留め 上質紙

2月28日(金)まで 学位論文審査及び最終試験結果報告書(様式5),
学位論文概評及び最終審査結果の要旨(様式6)

※様式4～6については、大学院係から指導教授に別途依頼します。

※学位論文最終原稿は、指導教授から提出された「学位論文概評及び最終審査結果の要旨(様式6)」とともに、今年度の医科学専攻修了生分をまとめて製本しています。

Ⅲ. 学位論文作成要領



注

◎発表会前

左肩ホチキス留め 3部提出
(厚い場合はクリップ留め可)

◎最終論文

左肩クリップ留め
発表会后修正を加えたもの
提出部数 2部
上質紙

1. 規 格 A4縦置き 上質紙
2. 表 紙 見本のとおり
3. 目 次 目次を付ける(例;第1章... はじめに... 目的... 等)
4. 本 文 パソコン, ワードプロ使用し, 片面印刷とする。

和 文

論文題目 MS明朝 15ポイント 中央寄せ

本文書出し MS明朝 10.5ポイント 左寄せ

横書き 1行36文字×30行

左右3cm, 上下4cmの余白とる

縦書き 1行36文字×30行(用紙横置き)

左右4cm, 上下3cmの余白とる

欧 文

論文題目 Times 15ポイント 中央寄せ

本文書出し Times 10.5ポイント 左寄せ

1ページ30行

なお, 和文・欧文共に本文からページを下部中央に付ける。また,
ページ制限はなし。

作成例（表紙）

学 位 論 文

MS ゴシック
24P

以下
MS 明朝
12P

(題 目)

令和6年度

信州大学大学院医学系研究科

修士課程 医科学専攻

氏 名 ○ ○ ○ ○

目 次

第 1 章 序論, はじめに, 目的等	1
1. 1 ○○○○○	1
1. 2 ○○○○○	2
第 2 章 材料, 方法, 対象等	3
2. 1 ○○○○○○○○○	3
2. 2 ○○○○○○○○○○	4
2. 2. 1 ○○○○○○○○	4
2. 2. 2 ○○○○○○	5
2. 2. 3 ○○○○○○○○	8
2. 3 ○○○○○○○○	10
2. 3. 1 ○○○○○○○○○○○○	10
2. 3. 2 ○○○○○○○○○	13

以下同様の形式で

第 3 章 結果等

第 4 章 考察等

第 5 章 まとめ等

第 6 章 謝辞等

第 7 章 参考文献等

**信州大学大学院医学系研究科修士課程（医科学専攻）の
学位論文審査並びに最終試験実施要項**

- 1 この要項は、信州大学学位規程に定めるもののほか、大学院医学系研究科修士課程（医科学専攻）の学位論文審査並びに最終試験の実施に関する手続について、必要な事項を定める。
- 2 学位論文の題目は、修了年次の12月20日までに指導教授の承認を得て、学位論文題目届（様式1）を研究科長に提出しなければならない。
- 3 学位論文は、修士学位論文審査申請書（様式2）に、正本1部、副本2部及び論文内容の要旨（様式3）1通（1000字程度）を添え、審査を受けようとする年度の1月20日までに、研究科長に提出するものとする。
- 4 学位論文審査委員会（以下「審査委員会」という。）は、指導教授及び指導教授が指名する2名以上の教授（必要と認めるときは准教授をもって代えることができる。）を候補者として1月20日までに学位論文審査委員会委員候補者名簿報告書（様式4）により推薦し、修士課程委員会で承認された者で構成する。
- 5 学位論文審査及び最終試験は、指定された期日の学位論文発表会において指導教授の座長の下、公開で行うものとする。
- 6 学位論文発表会で指摘された点等を訂正し、最終の学位論文を2月20日までに審査委員会に提出する。
- 7 審査委員会は、その最終の学位論文の審査を行い、最終試験の結果について、学位論文審査及び最終試験結果報告書（様式5）及び学位論文概評及び最終審査結果の要旨（様式6）を2月末日までに修士課程委員会に提出するものとする。
- 8 医科学専攻委員会は、修士課程委員会の報告に基づき、学位論文及び最終試験の可否の判定を行う。
- 9 研究科長は、前項により合格と判定された者について、修士課程の修了を認定し、学位授与を可とする者として、学長に報告する。

- 10 学位論文は、審査終了後正本1部を研究科に保存するものとする。
- 11 その他必要な事項に関しては、医科学専攻委員会が審議決定する。
- 12 この手続に関する事務は医学部事務部において行う。

附 則

この要項は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成18年1月12日から施行する。

附 則

この要項は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成30年4月1日から施行する。

様式 1

令和 年 月 日

信州大学大学院医学系研究科長

殿

所 属 _____
学籍番号 _____
氏 名 _____

学 位 論 文 題 目 届

学位論文題目を下記のとおりお届けします。

記

指導教授	
------	--

様式2

修士学位論文審査申請書

令和 年 月 日

信州大学長
殿

年度入学

信州大学大学院医学系研究科
医科学専攻

学籍番号

氏名

生年月日 年 月 日生

このたび信州大学学位規程第4条の規定により修士（医科学）の学位を受けたいので、下記の学位論文を提出いたしますから、御審査くださるよう申請いたします。

記

論文題目	
------	--

様式3

論文内容の要旨

論文提出者

医学系研究科 医科学専攻

申請者氏名

学位論文題目

注:1000字程度

様式 4

令和 年 月 日

信州大学大学院医学系研究科長

殿

指導教授 _____

論文提出者	
入学年度	
教室名	
学籍番号	
氏名	

学位論文審査委員会委員候補者名簿報告書

上記学生の学位論文の論文審査委員会委員候補者を下記のとおり選出しましたので報告します。

記

委員等	所属	職名	氏名
主査			
副査			
副査			

信州大学大学院医学系研究科長

殿

委員等	所 属	職 名	氏 名
主 査			
副 査			
副 査			

学位論文審査及び最終試験結果報告書

入学年度		学籍番号	
所 属		論文提出者	
研究題目			
成 績	学位論文		最終試験
審査月日	論文審査		最終試験
	令和 年 月 日		令和 年 月 日

注) 成績は、「秀」「優」「良」「可」「不可」で記入願います。

修得単位	単位	修得見込単位数	単位	計	単位
------	----	---------	----	---	----

学位論文概評及び最終審査結果の要旨

学位論文題目			
入学年度	専攻名	教室等	申請者氏名
年度			
委員等	所 属	職 名	氏 名
主 査			
副 査			
副 査			

信州大学大学院医学系研究科（修士課程） 学位論文審査及び最終試験の評価基準

【修士課程】

学位審査には、学位論文の提出を必要とする。所定の単位を修得し、学位論文を提出した者について、審査委員会が学位論文の審査及び最終試験を行い、医科学専攻委員会の協議によって最終的な可否を決定する。

学位論文の評価基準

1. [実験・調査・高度な技術の習得] 研究主題の探究に際して実施した実験・調査は、適切な仮説に基づいて行われているか。またその分析は正確で、解釈や結果が妥当であるか。あるいは高度で困難を伴う技術・技法が安定的再現性を伴って習得されているか。
2. [論証方法・技術の実行方法] 問題提起から結論にいたる論証方法と論旨は、明解かつ妥当であるか。また技術・技法・解析は適切に実行されているか。
3. [関連資料・文献] 研究主題の探究に際して利用した関連資料・文献について、正確な読解、的確な把握、また妥当な解釈がなされているか。あるいは客観的に正当な批判や批評が提示されているか。
4. [表現の的確性と表現力] 日本語もしくは英語について、語句や文章表現は的確で、かつ表現力に優れているか。
5. [総合的評価] 総合的に評価して修士論文に値するか。

(但し書き)

- 1) 実験、実地調査、聞き込み調査、情報・資料提供者（インフォーマント）との面談等、実施する全ての研究作業については、「実験・調査」と表記した。
- 2) 図書・論文・史料・統計資料・辞書・地図・インターネット資料その他、参照する全ての資料・図版等については、「関連資料・文献」と表記した。

最終試験の評価基準

最終試験は口頭試問により行い、以下の基準により評価する。

1. 研究の目的・方法・結果・意義について十分に理解し、明確に説明できること。
2. 研究の内容について提起される質問に対して、論理的に応答できること。
3. 関連する研究分野に関する基礎的な知識を有すること。